

地方創生先行型に係る事業説明書

事業名：歴史的建造物活用事業		担当課：教育委員会 文化課		
事業概要 【目的】 市の歴史や文化を物語る由緒ある歴史的建造物は貴重な文化・観光資源である。この歴史的建造物を持続的に保存活用した新しいビジネスモデルを創出し、事業展開を行うことにより雇用を見出すとともに、新たな起業家を創出する。また、市の魅力を発信することにより来訪者の増加につなげる。 【内容】 歴史的建造物を活用した新しいビジネスモデル創出のため指名型プロポーザル（4者）を行い、提案書・ヒヤリングにより事業者1者を選定した。事業者に委託し7月に小城町西小路にある武家屋敷を活用したカフェ・ギャラリー「小城鍋島家Ten」をオープンした。 ここを拠点に歴史的建造物を活用したビジネスモデルを展開するため、平成27年度に以下の取組を行った。				
① 小城鍋島家Ten・・・日替わりのランチやコーヒーなどを提供。歴史・文化を感じる建物でゆっくりくつろげる居場所づくりにつながった。ギャラリーではこれまでに地元事業者による洋服や骨とう品などを展示・販売を概ね1ヶ月サイクルで実施。集客増を目的にぬいぐるみワークショップ等のイベントも開催した。 ② 商品開発・・・小城市の食材ようかんやぶどうを使って、試作品の検討を行なった。 ③ 先進事例セミナー・・・先進事例である大分県戸次市「富春館」（庄屋屋敷を改装してカフェ等を展開）から招いて起業から現在にいたる成功事例や経験等を紹介した。 ④ 観光客の誘致・・・市民学芸員（小城観光ボランティア）へのアドバイス。県観光連盟との連携、マスコミ等による情報発信、台湾ブロガー来館。				
地方創生先行型事業のKPI	指標値		事業効果	理由
	目標値	実績値(H27)		
歴史的建造物を活用した起業相談数、起業数	2人	起業数1人 相談数 7人、1団体	地方創生に相当効果があった。	歴史的建造物（武家屋敷）を活用し、ギャラリー、カフェ「小城鍋島家Ten」を開店。新しいビジネスモデルが創出・展開できた。起業相談も8件あり今後の事業展開が見込める。
上記以外の参考指標	指標値		理由	
	実績値(H26)	実績値(H27)		
1 小城鍋島家Ten 来場者数	—	4,725人	カフェ、ギャラリーの開設、イベントの開催により多くの方が訪れ情報発信等につながった。（平成27年7月～平成28年3月）	
2 先進事例セミナー 開催回数 参加者数	— —	1回 24人	3月12日に大分県戸次市「富春館」帆足めぐみ氏を講師として招き、講演会を開催した。	

